



株式会社 巴商会  
TOMOESHOKAI CO.,LTD.

# SUSTAINABILITY REPORT

2025 - 2026



ここ 地球がすき まもりたい この場所を

お客様の  
ためになる  
ことをする

私たちは、お客様の立場になって考え行動  
することを信条として、法令の遵守と環境  
保全に配慮し、時代の変化に対応した有益  
な情報や商品サービスを提供することによ  
り、お客様や社会の発展に貢献すること  
を目指します。

代表取締役会長  
深尾 定男

代表取締役社長  
深尾 尚男

## CONTENTS

社是・経営理念	2
CONTENTS／編集方針	2
トップメッセージ	3
特集：本部メッセージ	7
事業紹介	11
安全への取り組み	13
環境への取り組み	15
事業を通じた社会への貢献	19
リスク管理の取り組み	25
働きやすい環境づくり	27
企業市民としての活動	31

### 編集方針

巴商会グループは、持続可能な社会の実現には、地域社会の発展に寄与しながら環境問題・社会課題に取り組むことが必要だと考えています。

その取り組みをさらに強化するため、2024年9月にCSR委員会を設置し、環境と社会に直面する課題に目を向けた「サステナブル経営」を推進する体制を構築しました。

CSR委員会の設置に合わせ、これまで発行してきました「CSR REPORT」を「SUSTAINABILITY REPORT」として発行し、本レポートは第2号となります。

本レポートをご覧いただき、巴商会グループの取り組み内容をご理解いただけますと幸いです。

### 報告対象期間

2024年9月1日～2025年8月31日

※一部対象期間外の情報も含まれます。

### 発行時期

2026年3月

### 報告書お問い合わせ窓口

株式会社巴商会 CSR委員会  
TEL.03-3734-1111 (代表)





代表取締役社長  
CSR委員長

深尾 尚男

## 環境の変化を成長の機会へ 巴商会の躍進を実現する100年企業の確立

最初に、社長就任にあたって所信をお話しさせていただきます。

2025年11月25日付で、代表取締役社長に就任いたしました。当社は、創業以来75年にわたり、創業者・齋藤文一から歴代社長へと、企業価値の大切さを受け継ぎながら歩んできました。その歴史の重みを改めて感じるとともに、次の世代へ確実にバトンをつないでいく責任の大きさを、強く感じています。

私は業界に入って12年あまりと、決して長いキャリアではありません。だからこそ、社員一人ひとりの力を結集し、対話を重ねながら、ともに会社をつくっていく経営を大切にしたいと考えています。守るべきものは守りつつ、時代に合わせて変えるべきところは変えていく。その姿勢を忘れることなく、当社が社会に必要とされ、継続する企業であるための基盤を、着実に築いてまいります。

### 自社を取り巻く環境変化と、成長への考え方

近年、企業を取り巻く環境は大きく変化しています。ポストコロナ社会への移行、地政学リスクの長期化、物流の混乱、資源・エネルギー価格の高騰など、不確実性の高い状況が続いています。商社である当社にとっても、輸出入や調達、価格対応などにおいて、難しい判断を迫られる場面が少なくありませんでした。

そのような中でも、国内外の拠点が連携し、柔軟に対応することで、変化に対応しながら事業を継続していくことができました。半導体分野をはじめとする成長市場や海外市場など、将来に向けた機会がある一方で、環境は常に変化し続けています。先を正確に見通すことが難しい時代だからこそ、部門の垣根を越えて知恵を出し合い、環境変化を成長の機会へとつなげていく姿勢こそが、当社の持続的な成長を支える基盤になると考えています。

### 2025年8月期の業績総括

2025年8月期は、巴商会単独で売上高1,000億円を突破し、最終利益も過去最高益を更新しました。これは、現場の社員一人ひとりが一致団結し、日々の業務に真摯に取り組んできた成果であり、その努力に対して心より感謝を申し上げます。

主力のガス事業は横ばいで推移した一方、お客様の設備投資に伴う工事・設備分野が業績をけん引しました。新設案件に加え、老朽化設備のリプレイス需要を着実に捉えられたことが、節目となる数字につながったものと考えています。海外事業については目標には届かなかったものの、着実に成長基調にあり、中長期的な成長余地があると認識しています。

### 4本部体制への組織再編の狙いと展望

2025年9月、当社は従来の7本部体制から、営業本部、エンジニアリング本部、イノベーション推進本部、コーポレート本部の4本部体制へと組織再編を行いました。今回の組織再編は、単なる組織のスリム化や名称変更ではなく、今後の当社の在り方を見据えた経営判断です。

事業環境の変化が激しく、将来の見通しが立てにくい時代においては、組織が複雑であること自体が、意思決定のスピードや柔軟性を損なう経営上のリスクとなり得ます。そこで、組織の構造をできるだけ分かりやすくし、部門間の連携を高めるとともに、人材がより柔軟に行き交うことのできる体制を整えることを目指しました。

営業本部では、国内、海外、医療分野を一体で捉える体制としました。これまで培ってきた各分野の強みを活かしながら、国内と海外を切り分けて考えるのではなく、グローバルな視点で事業を見渡す力を高めていきます。市場の成熟が進む国内に加え、成長余地のある海外市場を含めて捉えることで、将来に向けた選択肢を広げていきたいと考えています。

イノベーション推進本部は、当社の未来を担う事業を

育てるための組織です。グリーン水素、陸上養殖、ライフサイエンスといった分野は、それぞれ異なる事業でありながら、社会課題の解決と企業成長を両立させる可能性を秘めています。これらを一つの本部に集約することで、情報や発想を共有し、新たな価値創出につなげていくことを狙っています。

組織が変わることで、不安や戸惑いを感じている社員も少なくないと思います。これまで慣れ親しんだ体制や役割が変わることは、誰にとっても簡単なことではありません。会社としては、この体制変更を一時的なものにするのではなく、対話を重ねながら、皆さんとともにより良い形に育てていきたいと考えています。この4本部体制が、社員一人ひとりの視野を広げ、挑戦を後押しする確かな土台となるよう、責任を持って取り組んでまいります。

### サステナビリティへの取り組み

当社のサステナビリティへの取り組みは、創業以来大切にしてきた価値観を、時代に即した形で実践してきたものです。その根底にあるのは、社是である「お客様のためになることをする」という考え方にほかなりません。私たちが考える「お客様」とは、単にお取引先にとどまらず、地域社会、そして次世代を含めた、広い意味でのステークホルダーを指しています。

高圧ガスを扱う企業として、安全・保安・安定供給を最優先に考える姿勢は、これまででも、そしてこれからも決して変わることはありません。当社にとって、安全を確保することそのものが社会への責任であり、サステナビリティの原点であると位置づけています。

こうした姿勢のもと、事業を通じた社会課題への貢献にも取り組んでいます。脱炭素社会の実現に向けては、グリーン水素の普及を重要なテーマの一つとしています。現時点ではコスト面などの課題も多く、決して容易な道ではありませんが、国や自治体の支援制度も活用しながら、現実的な形で社会実装につなげていく方針です。

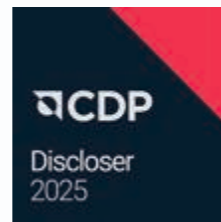
また、陸上養殖や凍結保存技術を活用したライフサイエンス分野では、環境、食、医療といった社会課題に対し、当社ならではの強みを活かして貢献できる可能性を追求しています。これらの事業は短期的な成果だけを求めるものではなく、中長期的な視点で育てていくべき分野であり、次世代に向けた投資でもあります。

サステナビリティに関する評価や開示については、EcoVadisやCDPへの対応を進めてきました。EcoVadisにおいては、当社の取り組みを示す一つの節目として、コミットメント・バッジを獲得しています。ただし、これらの取り組みは、点数や評価そのものを目的とするものではありません。現場の負担とのバランスを大切にしながら、できることを着実に積み重ねていくことを重視しています。背伸びをして無理に取り組みを増やすのではなく、日々の業務の中で改善できる点を見直し、その結果が評価につながるのであれば、それが望ましい姿だと考えています。

さらに、地域社会との関わりも、当社のサステナビリティ活動の重要な一部です。ボランティア活動や地域貢献を通じて、事業活動を支えてくださっている地域への感謝を形にしてみました。今後は、全国に広がる営業所単位で、現場の発意や工夫を活かしながら、地域の実情や課題に寄り添った取り組みを継続的に広げていきます。



企業のサステナビリティ（環境・労働・倫理・持続可能な調達）に関する取り組みを評価するプラットフォームであるEcoVadisにおいて獲得した「コミットメント・バッジ」



国際的な環境情報開示システムを運営する非営利団体CDP（Carbon Disclosure Project）が実施するCDP2025気候変動開示書において獲得した「C」スコア

### ステークホルダーの皆様へ

変化の激しい時代において、社員の皆さんには不安を感じる場面もあると思います。だからこそ、対話を何よりも大切にし、ともに考え、ともに前に進む経営を、これからも実践していきます。

お客様、お取引先、地域社会の皆様には、「安心を売る会社」としての責任を果たし続けながら、長期的な信頼関係を着実に築いてまいります。来る100周年を一つの通過点として見据え、巴商會がいつの時代にも必要とされ続ける企業であるために、全社一丸となって歩みを進めていきます。

## CSR方針 (2024年9月1日 制定)

### <基本理念>

私たち巴商會グループは、地球環境と調和した社会づくりに貢献し、より豊かな未来を創造していくことを目指すために、以下の方針を基にしたCSR活動を推進します。

### <基本方針>

#### 1. 社是および経営理念の実践

社是「お客様のためになることをする」および経営理念を常に意識し、企業活動の全てにおいて、その理念を体現します。

#### 2. ステークホルダーとの信頼関係の構築

ステークホルダー（顧客・購買先・社員・地域社会など）との信頼関係を大切にしたい事業活動を行うことを目指し、誠実かつ透明なコミュニケーションを行います。

#### 3. 地域社会との共生

地域社会と連携し、共に成長することを目指して、積極的に地域社会の発展への貢献をしていきます。

#### 4. 持続可能な成長の追及

環境保全や社会貢献に努め、持続可能な成長を実現するための取り組みを推進します。

#### 5. 環境・資材調達・倫理・労働人権への取組み

各種方針を定めて定期に見直しを行い、必要な社内規定を整備して、当グループ各社の内部統制に向けた取り組みを行います。

### <対象／責任>

本方針の対象を巴商會グループ全体とします。CSR委員会が、担当役員の下で当グループのCSR方針・関連規定の策定およびCSR運営の責任を負います。また、社内外へのコミットメントと取締役会への報告を担います。

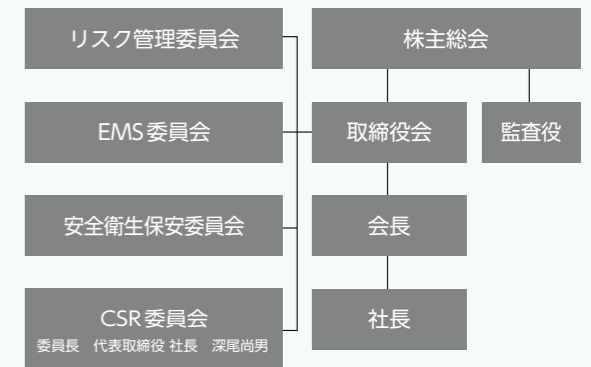
### <再審査>


本方針は、毎年、その適切性・妥当性・有効性を審査し、最大5年以内に改正するものとします。

### サステナビリティ推進体制

巴商會グループでは、グループ全体でサステナビリティを効果的に推進するため、当社社長を委員長として、「CSR委員会」を設置しています。

CSR委員会の審議・報告事項については、取締役会にてCSR委員長より報告がなされ、取締役会の監督を受けることになっています。CSR委員会で承認された方針や計画の実行にあたっては、事務局を中心に具体的な活動・検討を進めています。



 サステナビリティの対象範囲については、ホームページをご覧ください。  
<https://www.tomoeshokai.co.jp/csr/?target=csr27>



# サステナブル社会の実現に向けて 本部メッセージ

## 営業本部

当本部は、高圧ガス・特殊高圧ガス・液化石油ガスや附帯する機器・設備など、多様な製品を取り扱っており、半導体や電子部品、化学、自動車、医療、食品業界など幅広い業界に向けて安定した供給体制を構築しています。また、関東を中心として全国に広がる拠点網を活かし、縦横に連携しながら迅速できめ細かい対応を心がけています。加えて「お客様のためになることをする」の社是のもと、お客様のニーズを起点に安全・品質・サービスの三位一体で信頼構築に注力しています。



本部長  
港道 達哉

### 自部署での取り組み

事業活動を通じた環境負荷低減と社会価値創出に取り組んでいます。人体や環境への影響が危惧されるガスに対応する排出処理装置の販売や営業車両のHV化、配送効率向上によるCO<sub>2</sub>排出削減など脱炭素社会の実現に向けた施策を推進しています。また、水素ステーションや高圧ガス技術の

知見を共有し、次世代エネルギーの普及を支援することで、持続可能なエネルギー社会の構築に貢献しています。加えて、メーカーの製品研修を通じた環境対応型のガス利用や省エネ製品、設備をお客様に提案し、効率化と環境負荷低減を両立させています。

## ACTION 事業を通して取り組む社会貢献

### すでに取り組んでいること

当社が販売するガスを安心・安全にご利用いただくため、ガス漏洩検知器や排ガス処理装置と関連する薬剤、グリーン水素、水処理剤、環境負荷の高い六フッ化硫黄(SF<sub>6</sub>)回収サービスに関する製品・サービスを提供しています。これらの製品・サービスを通じてお客様の環境負荷低減に貢献しています。

さらに、BCPの観点から、各地域の災害リスクやインフラ状況などの特徴を踏まえ、拠点ごとに最適な対策を講じることを心がけております。



水害想定地域における事業所の高床化

SF<sub>6</sub>回収作業

### 新たに取り組むこと

現在の取り組みを継続するとともに、イノベーション推進本部と協力してグリーン水素の付加価値をお客様にご理解いただきながら普及を推進したいと考えています。また、老朽化した各拠点の改修にあたっては太陽光パネルや省エネ機器の設置を積極的に推進するとともに、既存拠点でもグリーン電力への切り替えなどに取り組むことで、環境負荷低減に貢献します。

### 製品を通じての社会貢献

当本部が供給する高圧ガス、特殊高圧ガスは、半導体や電子部品、化学、自動車、医療、食品といった幅広い産業の土台となっています。半導体・電子部品向けの高純度ガスや特殊材料ガスは、製品の信頼性とイノベーションの基盤を支え、医療分野では、医療用ガスが患者さまケアや検査機器で活用され、ヒトの健康と安全を守る中心を担っています。食品加工用途では、防腐や洗浄などに不可欠なガスが食品の安全性と品質維持に寄与しています。これらのガスは、産業を陰で支える社会インフラであり、当社は安全・安心・安定的な供給を通じて社会に貢献することを誇りとしています。今後も、持続可能な未来の実現に向け営業本部一丸となって、明るい豊かな未来の実現に貢献します。

2025年9月、当社は従来の7本部体制から、営業本部、エンジニアリング本部、イノベーション推進本部、コーポレート本部の4本部体制へ組織を再編しました。“お客様のためになることをする”の社是のもと、体制も新たにサステナブル社会の実現に向け邁進してまいります。

## エンジニアリング本部

当本部は、CSR方針で掲げる基本方針のうち、特に「環境・資材調達・倫理・労働人権への取り組み」に重点を置き、品質安全管理室が中心となってサステナビリティ活動を力強く推進しています。次世代事業やイノベーションを通じて社会の課題解決に貢献しながら、環境・社会・経済のバランスを考慮し、持続可能な社会の実現を目指します。今期、横浜研究所は茅ヶ崎市に移転し「湘南研究所」として新たなスタートを切りました。湘南営業所に併設した同研究所は、技術研修室を備えた先進的な拠点として、全社員が活用できるイノベーション創出の場として進化させていきます。



本部長  
中川 雄二郎

### 湘南研究所

湘南研究所は「環境」への配慮を最重要テーマとして、環境負荷低減を軸に持続可能な拠点づくりを進めています。建物は建築物省エネ法に適合し、省エネ性能の高い建材を採用するとともに、屋上には太陽光パネルを設置して発電した電力を分析業務に活用するなど、省エネ対策を一層強化しています。事務所スペースはフリーアドレスを採用し、職場環境とエンゲージメントの向上を図っています。また、外階段の一部には壁面緑化を施し、CO<sub>2</sub>削減に加え、社員や

訪問者にやすらぎと心地よさを提供する空間づくりにも力を入れています。



屋上に設置した太陽光パネル

### 湘南研究所の挑戦

研究所では、半導体業界を中心に、幅広い業種のお客様からのご依頼に応え、様々な分析や実験を行っています。エンジニアリング本部をはじめ、営業本部・イノベーション推進本部とも連携し、部門の垣根を越えた協働によって、新技術や新商品の開発に挑戦し、持続的な成長への貢献を目指します。



分析装置

## ACTION 事業を通して取り組む社会貢献

### すでに取り組んでいること

職場作業者の安全性の確保を目的に、有害物質を取り扱う作業場における法定作業環境測定サービスを実施しています。加えて、半導体製造時の排出ガスの成分分析や有害排出ガス除害装置の性能確認、メーカーの機器開発支援など、環境・安全分野で多角的な取り組みを進めています。

### 新たに取り組むこと

技術部門と協働し、超音波液面センサーによる液ガス残量監視システムやIoTセンサーを活用した遠隔監視システムの調査・開発を推進します。イノベーション推進本部や大学研究機関とも連携し、農業分野・水産分野など新たな業界へのアプローチにも挑戦します。肥料や農薬に起因する窒素問題など、社会が抱える環境課題の解決に向け、積極的に活動を展開していきます。

## イノベーション推進本部

当本部は、「社会課題の最前線に立ち、次世代を支えるソリューションを創出する」をビジョンに、当社が未来に向けて挑戦する新規領域を束ねる組織として、水素エネルギー事業、ライフサイエンス事業、水産事業、クリーンテクノロジー事業の4部門を統合し、多様な技術と知見を掛け合わせながら新たな価値創造に取り組んでいます。各事業は脱炭素、医療高度化、食料安定供給、産業の環境・安全性向上の社会課題に応じて発展してきました。当本部の使命は、産業ガスで培った技術と現場力を起点に、社会が直面する課題に対して「複合的ソリューション」を生み出すことにあります。本部内外との共創を通じ、次世代を支える事業の創出を目指します。



本部長  
成澤 桂

### 自部署での取り組み

「ガス関連技術で培った強みで社会を良くする」を中核テーマに、事業活動そのものを社会価値創出へ直結させる取り組みを進め、各事業の連携により、持続可能な未来の実現に貢献します。

- 水素エネルギー事業：グリーン水素の製造・輸送・販売基盤の構築を通じた地域循環型エネルギーモデルの社会実装の推進。

- ライフサイエンス事業：-150℃帯の細胞物流やバイオ試料保管など、再生医療の発展を支えるインフラの提供。
- 水産事業：陸上養殖による資源保全と地域活性化。
- クリーンテクノロジー事業：環境負荷低減に資する除害技術の高度化。

### ACTION

#### 事業を通して取り組む社会貢献

##### 新たに取り組むこと

- 水素エネルギー事業：グリーン水素を活用した産業・地域GXの実装を一層加速し、水素ステーションやP2Gなどインフラ開発を通じた持続可能なエネルギー利用の拡大。
- ライフサイエンス事業：検体保管・輸送を含むトータルソリューション化を進め、医療技術の進歩に寄与。
- 水産事業：地域と連携した地産地消型の新たな食品価値創出に挑戦し、食料安定供給と地域活性化。
- クリーンテクノロジー事業：ハイテク産業の発展とともに社会問題化した環境負荷の高い排気ガスの回収や安全な処理に関わる取り組みの拡大。

##### 製品を通じての社会貢献

当本部の4事業は、社会基盤を支える重要な技術領域です。各事業の複合的な技術とフィールド連携により、当社の社会的価値を未来へ広げていきます。

- 水素エネルギー事業：産業の脱炭素化ならびに地域エネルギーの自立につながるグリーン水素の供給や水素ステーション整備、複合容器を用いた次世代の輸送技術開発など、安全で安定的な水素社会の実現を支える取り組みの推進。
- ライフサイエンス事業：凍結保存容器を基盤とした極低

温技術とSOP化された運用品質により、創薬や細胞医療の発展を支えるインフラとして医療・研究機関に貢献。

- 水産事業：陸上養殖のノウハウ・設備・酸素供給技術を組み合わせ、持続可能な食料供給と地域の資源循環モデルの創出。
- クリーンテクノロジー事業：排ガス処理装置や除害技術、バルブシャッターなどの安全装置を通じ、環境負荷低減と産業の安全性向上を支援。



水素エネルギー事業推進部  
第23回 国際 水素・燃料電池展



ライフサイエンス事業推進課  
第7回 再生医療EXPO 東京



水産事業推進課  
第27回 ジャパン・インターナショナル・シーフードショー



機器営業部  
SEMICON Japan 2025

## コーポレート本部

旧管理本部と旧環境安全本部が統合した当本部は、人事部、総務部、経理部、情報システム部、環境安全部、国際管理部の6つの部門の総勢124名体制でスタートしました。当社のバックオフィス業務を統轄し、巴商会グループの会社全体を支える重要な部門を形成しています。会社の社是である「お客様のためになることをする」を実現するため、人財、経理財務、法務、環境安全、情報技術などの企業運営の面から確実に会社を支えています。



本部長  
関口 正博

### 自部署での取り組み

会社の重点方針である健全な企業経営を実現するためには、「ヒト、モノ、カネ、情報、時間」を有機的かつ効率的に機能させることが必須となります。なかでも「ヒト」が重要であるとの考えから、総務部より人事部門を分離して人事部を創設し、人事機能を強化しました。さらに採用力の増強を目的に、人員を従来の

2倍の10名に増員して大学や高校への学校訪問機会を増やした結果、就職応募者は前年比約1.8倍に増加しました。その他として人事制度を刷新し、業務の役割と責任に応じた処遇への変更をはじめ、シニア活用高度化など社員の成長支援や働きやすさを向上させていきます。

### ACTION

#### 事業を通して取り組む社会貢献

##### すでに取り組んでいること

2025年9月より、従来の社員旅行に代えて社員食事を年に3回開催することにしました。同行事への変更は、日常業務が忙しい中で、社員の皆様のコミュニケーション機会の創出をねらいとしています。また、社員の心と体の健康増進については、特にハラスメントの撲滅強化を目的として各本部と連携し、社員の皆様にとって明るく楽しい職場づくりを推進します。

##### 新たに取り組むこと

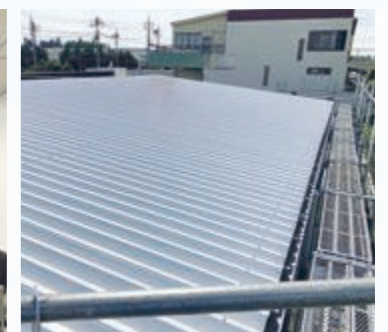
2025年より刷新された新人事制度や統合業務ソフトウェアの浸透と定着、安全の確保に向けたボンベ庫の遮熱塗装やテールゲートリフターの容器転倒防止柵の導入などを着実に実施していきます。また、当本部メンバーの定期的な拠点訪問の実施により、現場の業務状況や労働環境を把握し、各本部と連携したうえで必要に応じた改善や支援を実施します。



社員と家族を招待したサマーフェスティバル2025



研修室による新入社員研修



遮熱塗装が施されたボンベ庫の屋根(埼玉営業所)

# 事業紹介

ガスは、見えないところで私たちの暮らしを支える存在です。  
医療や食品、エネルギー、さらには宇宙開発まで。  
生活に身近なものから未来を切り拓く挑戦まで、巴商会は多様な分野に関わり、  
人々の豊かな営みと社会の発展を支え続けています。

## 一般消費

### 生活者に直接価値を届ける分野

活用事例：食品の品質保持・鮮度維持／バルーン等のイベント演出／陸上養殖  
主要ガス例：N<sub>2</sub>・CO<sub>2</sub>・O<sub>2</sub>・He 等



## 研究・試験分析

### 企業や学術研究機関の研究開発と品質評価を支える分野

活用事例：分析・計測装置の校正／大気・環境測定等の各種試験分析  
主要ガス例：標準ガス各種・高純度 N<sub>2</sub>/He 等



## 医療・ヘルスケア

### 医療の安全と品質を支える分野

活用事例：患者さまの治療／手術時の麻酔／機器・製品の滅菌／医薬品の製造・品質保証  
主要ガス例：O<sub>2</sub>・N<sub>2</sub>O・EO・N<sub>2</sub>・CO<sub>2</sub>・液体N<sub>2</sub> 等



## 産業・製造

### あらゆるモノづくりに貢献する分野

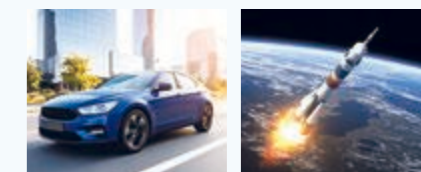
活用事例：溶接・溶断／半導体の成膜・エッチング・洗浄／工業炉等の雰囲気／品質管理  
主要ガス例：N<sub>2</sub>・H<sub>2</sub>・Ar・O<sub>2</sub>・F系・SiH<sub>4</sub> 等



## モビリティ・宇宙

### 信頼性が求められるモビリティ・宇宙技術を支える分野

活用事例：水素自動車の燃料／航空機等のタイヤ充填／ロケット燃料  
主要ガス例：H<sub>2</sub> (FC)・N<sub>2</sub> (タイヤ)・LH<sub>2</sub>/LOX・Xe 等



## エネルギー・環境

### 持続可能なエネルギー基盤を支える分野

活用事例：水素燃料発電／太陽電池の製造／核融合燃料  
主要ガス例：H<sub>2</sub>・N<sub>2</sub>・SiH<sub>4</sub>・He (核融合)・重水素 等



## 極低温・超伝導

### 極低温状態や超伝導を用いた産業、医療にも貢献する分野

活用事例：材料・機器類の環境試験／低温輸送／MRI／リニア  
主要ガス例：液体He・液体N<sub>2</sub> 等





# 安全への取り組み

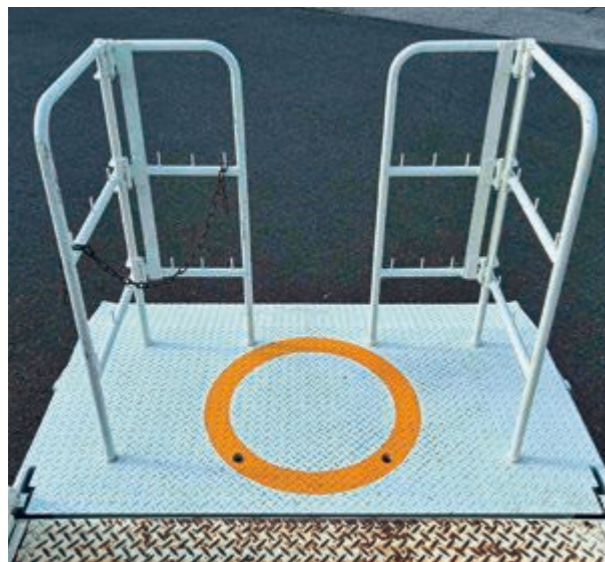
当社では、お客様が高圧ガスを安全・安心にご使用いただけるように、高圧ガスの移動・供給から消費・排気までの取り扱い全般で公共の安全の確保に努め、積極的に自主保安の促進に取り組んでいます。

## ▶安全活動への取り組み

### 高圧ガスの「移動」に関する安全への取り組み

#### テールゲートリフター使用時の安全対策

高圧ガス容器の輸送にはトラックが必要不可欠です。2024年2月に労働安全衛生規則が改正され、トラックに搭載されたテールゲートリフターの使用に関して特別教育が義務化されました。当社では高圧ガス容器積載時の昇降について安全対策が必要と考え、特別教育の受講を必須としました。テールゲートリフターには脱着式容器固定架台を取り付けるなど、高圧ガス容器積載時に安全に昇降できる体制を整えています。



脱着式容器固定架台を取り付けたテールゲートリフター

### 社内規定の見直し

テールゲートリフターの特別教育の義務化により、「高圧ガス運送規程」を改訂しました。その他にも当社が取り扱う高圧ガスには、「毒物」「劇物」に該当するものもあり、法令遵守のため定期的に社内規定の見直しを行っています。また、「毒物劇物危害予防手順」については、運搬者が漏洩時の対応を行うなど、安全意識の向上を図る教育の機会を増やし、2人作業が可能になるよう工夫した改定としました。

### 運転集中

当社では、運転中のハンズフリー通話を禁止しています。ながら運転の危険はもちろんですが、運転中のハンズフリー通話は会話に意識が向いてしまうため、運転中の注意力が低下します。その結果、危険回避が遅れる可能性があることから禁止しています。なお、運転中に携帯電話が気にならないようバッグにしまっておくことなどを推奨しています。

### ドライブレコーダーの活用

当社では交通事故の撲滅を目的として、2013年から高圧ガス容器を運搬するトラックにドライブレコーダーを搭載しています。危険運転と思しき行為についてはその映像を管理部門が抽出して注意喚起するとともに、教育資料として横展開を図ることで安全意識と安全知識の向上に資するよう努めています。



お客様向け保安講習会

## ▶お客様と取り組む安全

### 高圧ガス保安講習会の実施

高圧ガスは、社内だけではなく高圧ガスをご利用されるお客様にも安全に取り扱っていただくことが不可欠です。そのため当社では、お客様に正しい知識を持っていただくために「高圧ガス保安講習会」を開催しています。講習では、高圧ガス保安法を中心に、不具合事例やヒヤリハット、事故事例を取り入れ、安全意識の共有を図っています。講習会の開催により、災害の芽を事前に摘むことが安全への第一歩と考え、積極的に取り組んでいます。

## ▶安全を維持する人材の育成

### 社内資格制度の取り組み

当社では、各作業における社内資格制度を導入し、実機モデルを用いた実技指導・検定を定期的に行うなど技能の保持と向上に努めています。その他にも、作業の適切性・安全性の確保を目的とした資格を設け、人材の育成につなげています。

#### 社内資格一覧

- 特殊材料ガス容器交換作業資格
- イオン注入装置容器交換作業資格
- 排ガス処理筒交換作業資格
- NMR等充填作業資格
- 工事立会い者資格
- 高圧ガス運送員資格



排ガス処理筒交換の実技指導で使用される実機モデル



### Voice 社員の一言

安全課 渡邊 学

安全作業を実現するためには、作業内容を明確化し、可視化したうえで関係者と共通認識を持って危険要因を洗い出して対策を講じることが重要です。しかし、全ての危険を完全に排除することは現実的には困難であり、ヒューマンエラーを完全に防ぐことは誰にも成し得ません。だからこそ、私の所属する部署では一緒に働く社員や講習を受けてくださる方々が「不幸な結果」とは無縁であるよう、ひたむきに安全への取り組みを続けています。

### 安全衛生保安委員会での社内展開

当社では毎月「安全衛生保安委員会」を開催し、法令改正、労働安全衛生、社内周知事項、事故・不具合に関する情報を、社内イントラネット「TOMNET (トムネット)」を通じて全社に共有する体制を構築しています。

特に作業に関わる不具合は全社的な影響が大きいため、類似事例の再発防止の観点から水平展開を実施するとともに、過去事例をデータベース化して注意喚起および社内教育に活用しています。

また、法令改正情報についても同委員会でも共有することで、社内での水平展開と実効性の高い対策の検討・実施につなげています。



熱中症対策ポスター

### 化学物質管理者掲示

労働安全衛生法の改正により、2024年4月から化学物質の管理体制が強化されました。リスクアセスメント対象物質は年々増加しており、2026年には高圧ガスでも使用用途の多い窒素や酸素などが追加される予定です。

当社では、これらの対応として各営業所に化学物質管理者および保護具着用管理責任者を選任のうえ氏名を掲示し、SDS (安全データシート) の記載内容の変更についても現在対応を進めています。



労働安全衛生規則で規定されている化学物質管理者、保護具着用管理責任者の氏名の掲示

# 環境への取り組み

## ▶環境活動への取り組み

### 環境方針

巴商会グループは、地球環境と調和した社会づくりに貢献し、より豊かな未来を創造していくことを目指すために以下を実施します。

### 基本理念

当グループは、高圧ガス関連の専門商社であることを活かし、ステークホルダーと協力しながら、資源の有効利用、気候変動への取り組み、生物多様性および生態系の保護等を含む環境保全・環境保護に努め、環境マネジメントシステムの運用と継続的な改善による環境リスク低減活動を推進することで安心と安全を社会に提供するとともに持続可能な社会の実現に貢献します。

### 行動指針

#### (1) 環境保全への寄与

以下について念頭におき環境に有益な商品の開拓と販売を促進することで、環境保全の推進へ継続的に貢献します。

- ① 廃棄物削減による循環型社会の形成
- ② 水資源の保全
- ③ 大気汚染の防止
- ④ 生物多様性への配慮
- ⑤ 化学物質による環境負荷

#### (2) 法令の順守

関連法令および関連基準の順守に社員全員が積極的に取り組み、自ら監視して安全の確保を図ると共に誠意ある事業活動を展開します。

#### (3) 保安の確保

ガス・薬液等の設備や容器を保守管理し、不良や劣化、人為的ミスによる漏洩を監視して環境汚染および災害を未然に防ぐとともに、ステークホルダーの健康と安全の確保に努めます。

#### (4) 環境負荷の低減

使用するエネルギーおよび温室効果ガス排出量を監視して省資源化に取り組みます。また、事業に必要な資材・設備機器は環境に配慮したものを利用するなど、温室効果ガスの削減に努め、脱炭素社会の実現に寄与します。

### 行動目標

#### 1. 環境保全に関する研修

2025年までにグループ内の社員・役員の90%以上に対して「行動指針(1)①~⑤」に示した内容の社内研修を実施します。

#### 2. 法令の順守に関する研修

2025年までにグループ内の社員・役員の90%以上に対して環境負荷の低減に関する社内研修を実施します。

### 対象/責任

本方針の対象を巴商会グループ全体とします。巴商会社長が、当グループにおける環境方針および関連規定の策定ならびに環境に関する運営の責任を負います。また、CSR委員会が社内外へのコミットメントと取締役会への報告を担います。

### 再審査

本方針は、毎年、その適切性・妥当性・有効性を審査し、最大5年以内に改正するものとします。

### 環境法令

巴商会グループは、コンプライアンスを柱とした環境マネジメントシステムを構築し、環境法令の遵守に取り組めます。

### 主な適用法規

- 高圧ガス保安法
- 労働安全衛生法
- 食品衛生法
- 騒音規制法
- 廃棄物処理法
- 下水道法
- 水質汚濁防止法
- 自動車NOx・PM法
- 電気事業法
- 医薬品医療機器等法
- 毒物及び劇物取締法
- 消防法
- 省エネ法
- 振動規制法
- 浄化槽法
- 大気汚染防止法
- 化管法
- 温対法
- フロン排出抑制法
- 古物営業法

### 適用条例

- 都道府県条例：19条例 34項目
- 市区町村条例：34条例 48項目



### 廃棄物の管理

産業廃棄物の適正管理を目的として、2020年からクラウドシステムを導入し、各拠点からの産廃排出の一元管理を行っております。これにより、電子 manifests や許可証、委託契約証の管理を行うことが可能となり、法令遵守に取り組んでおります。さらに本システムにより、廃棄物の輸送や処理に関するCO<sub>2</sub>排出量の可視化ができるため、廃棄物由来のCO<sub>2</sub>排出量削減にもつなげていきたいと考えております。



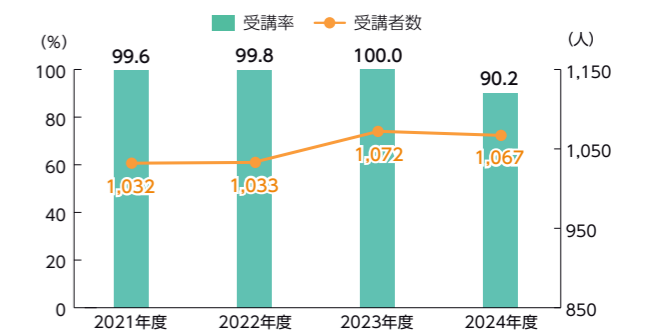
### サステナビリティ関連教育の実施

当社では全社員を対象にeラーニングでサステナビリティ関連教育を実施しております。

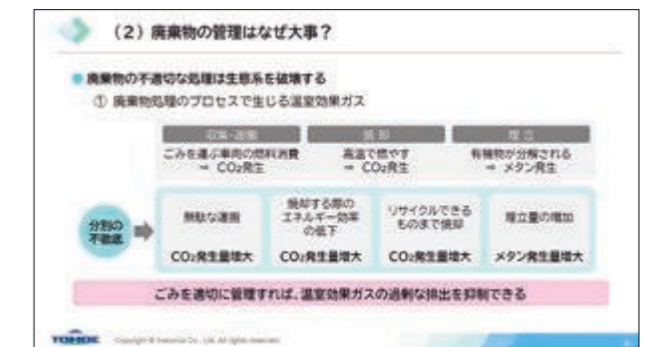
これまでは環境教育のみでしたが、2025年度は環境・安全衛生・倫理・情報セキュリティなど10テーマに拡大して提供しました。これにより、社員の理解を広げ、EcoVadisなど国際的な評価基準に対応できるよう取り組みを強化しています。

なお、以下のグラフは巴商会単体の集計結果です。今期は国内外の関連会社にも教育を拡充しましたが、主要指標として、単体報告としています。

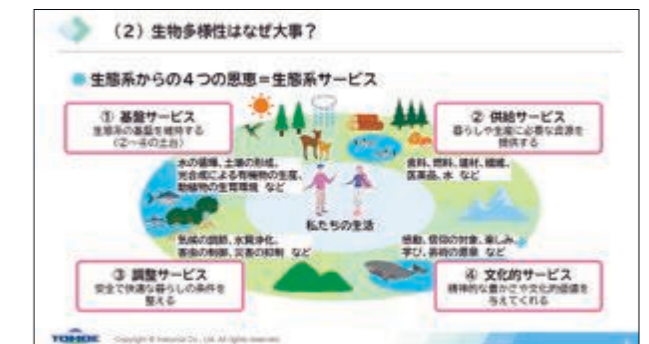
### 環境教育の受講率



### 2024年度の環境教育 資料例



廃棄物について考える講座



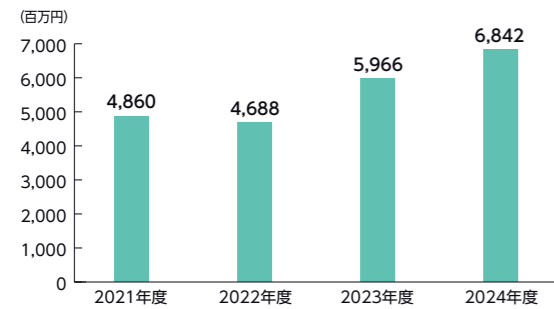
生物多様性について考える講座

## ▶ 2024年度の主な環境活動結果

### 環境商材の拡販

高圧ガスの専門商社として、今年度も環境に有益な環境配慮型商品の販売促進に努めました。

#### 環境配慮型商品の販売額



※集計方法の変更に伴い、過去販売額も含めてサステナビリティレポート2024-2025結果と差異が生じています。

#### 拡販を目指す環境配慮型商品

##### 除害関連商品

毒性ガスを無害にしてから放出する商品  
 <除害装置/除害剤/フロン・SF<sub>6</sub>破壊サービス>

##### ガス検知器関連商品

毒性・可燃性ガスの漏れを検知する商品  
 <ガス検知器の販売・メンテナンス/煙検知器>

##### 防災関連商品

高圧ガスなどの災害に備えた商品  
 <ガス緊急元弁遮断装置/防毒マスク/防災工具>

##### エコ商材関連商品

製造・使用・廃棄に際して地球環境に優しい商品  
 <グリーン水素/ガス分離膜モジュール>

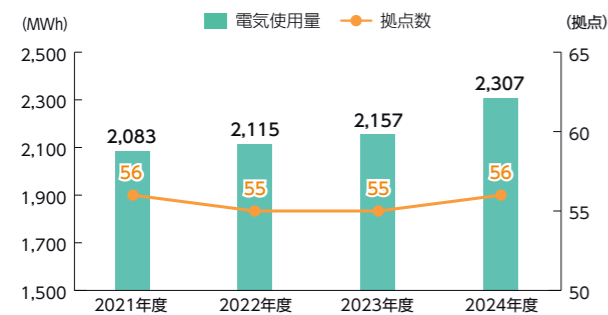
##### 排水処理関連商品

排水を環境基準に適合させる商品  
 <高分子凝集剤/キレート剤/水処理剤>

### 電力使用量の削減

節電や照明のLED化・デマンドコントロール等により、電力使用量の削減に取り組みました。

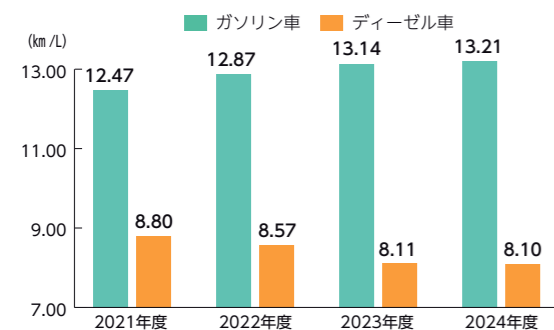
#### 電力使用量 (ガス製造電力は除く)



### 車両の燃費向上

配送ルート効率化や車両の入れ替え、エコ運転、アイドリングストップ等により、今年度も使用する運送車両燃料の削減に取り組みました。

#### 車両平均燃費

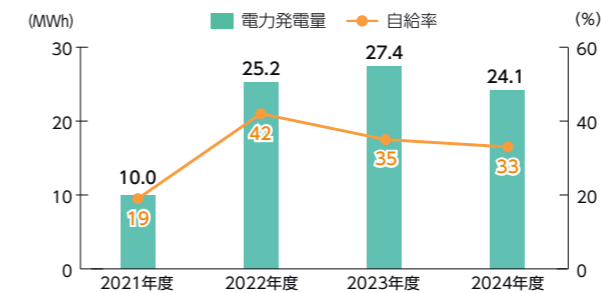


### 太陽光発電量

保有する4拠点の太陽光発電により、使用する電力の一部を自給しました。

また、2026年1月より開設した湘南研究所にも新たに太陽光発電設備を設置しております。

#### 太陽光発電量



#### 当社の太陽光発電保有事業所

- 高崎営業所
- 伊勢原営業所
- 千葉営業所
- 荊崎営業所
- 湘南研究所

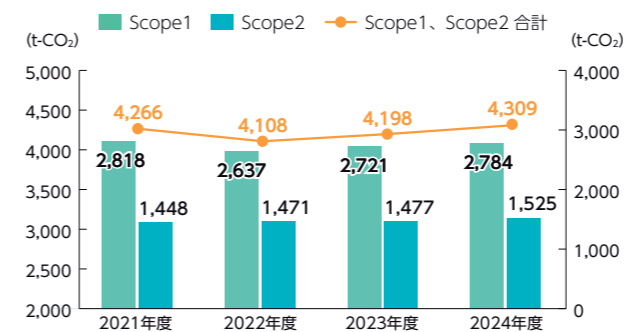


湘南研究所の太陽光発電設備

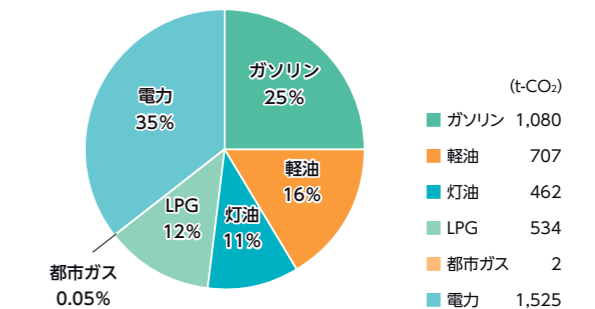
### Scope1、Scope2排出実績

当社の事業活動由来の温室効果ガス排出量を集計して見える化し、削減活動に取り組んでおります。

#### Scope1、Scope2排出量



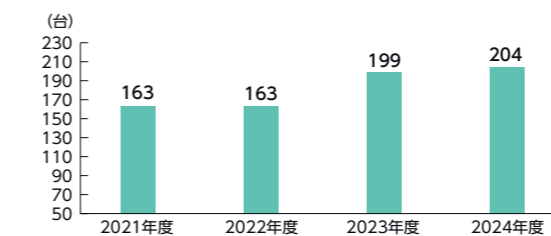
#### 2024年Scope1、Scope2排出量の内訳



### エコカーの導入

社有車に燃料電池車を導入するなど、エコカー導入の推進に取り組んでおります。

#### エコカーの保有台数



※集計条件の変更に伴い、過去年度のデータも含め再集計を実施しました。そのため、サステナビリティレポート2024-2025に掲載した数値と差異が生じています。

#### 当社の主なエコカー

- トヨタMIRAI
- トヨタプリウス
- ホンダシャトルHV
- トヨタアクア
- トヨタカローラアクシオHV 他

### Voice 社員の一言



環境課  
吉峰 傑

お客様からのESG関連の調査・お問い合わせは引き続き増加しており、当社もCSR体制の強化を推進しております。

今年度は初めて海外関連会社も含めたサステナビリティ教育を実施いたしました。これを通して巴商会としてのESGに対する基本姿勢や共通認識を持つことができると考えております。

また、関係各所に置かれましては多大なご理解とご協力に感謝申し上げます。





## 在宅医療の取り組み

当社は、病院や公的機関と連携し、在宅医療が必要な方へ医療ガスを届けることにより、地域社会の福祉に貢献し、自宅で療養したいという患者さまのニーズにお応えしています。在宅療法の種類には様々なものがありますが、例えば「在宅酸素療法 (HOT)」では、慢性呼吸不全の患者さまが家庭で酸素投与を受けられることによって、QOL (生活の質) を改善することができます。住み慣れた自宅で酸素を補うことによって、自宅でご家族と過ごすこと、外出や旅行に行くこと、趣味を楽しむこと、仕事を続けることができるようになります。また、近年より取り扱うようになったHigh Flow Therapy (ハイフローセラピー) は、専用の鼻カニュラを介して加湿した酸素や空気を投与する呼吸管理方法の一つです。装着中であっても食事や会話・排痰・口腔ケア等が支障なくできるので、患者さまの負担軽減になり、非侵襲的換気療法の新たな選択肢として注目されています。

- 在宅悪性腫瘍の鎮痛療法および化学療法
- 在宅自己注射



睡眠時無呼吸症候群の治療器

機器の定期メンテナンスはもちろん、緊急時の対応は365日・24時間体制で行っています。高度管理医療機器等販売業貸与業・医療機器修理業の許可証、医療関連サービスマーク振興会による在宅酸素療法における酸素濃縮装置保守点検の認定を受けています。患者さまが多数いると言われている「睡眠時無呼吸症候群」の簡易検査とその治療にも関わっています。



酸素濃縮装置

液化酸素装置



携帯用酸素ボンベ

High Flow Therapy (ハイフローセラピー)

その他にも、巴商会で取り扱っている在宅療法は下記のようなものがあります。

- 在宅人工呼吸療法 (鼻マスク式NPPV)
- 在宅人工呼吸療法 (気管切開TPPV)
- 在宅持続陽圧呼吸療法 (CPAP)
- 在宅中心静脈栄養法 (HPN)
- 在宅成分栄養経管栄養法 (HEN)
- 在宅小児経管栄養法 (HPEN)



### Voice 社員の一言

メディカルサービス部  
在宅推進課  
田口 味優

ご自宅で治療を続ける患者さまが毎日少しでも安心して過ごせるよう病院や公的機関と連携し、医療ガスや機械をお届けしています。医療ガス供給と機械のサポートを通じてQOLを向上し、治療と日常が無理なく両立できるよう在宅での治療環境づくりに貢献していきます。普段と変わらない環境をつくれるよう丁寧な対応と安全意識を持って日々の業務に取り組んでいます。

## ライフサイエンス事業への取り組み

巴商会グループが得意とする液体窒素を活用し、再生医療分野等の低温試料向け凍結保存容器の販売や極低温保管・輸送サービスの提供をグループのプラットフォーム事業として取り組んでいます。

### 省エネ型 超低温試料保存容器 MVE Fusion® 1500TM

本装置は、液体窒素を冷却源としながらも100V電源を使用することで、液体窒素を消費することなく-150℃以下の温度帯を維持できる「液体窒素回生方式」を採用し、従来タイプの液体窒素保存容器や超低温フリーザーに比べて大幅にエネルギーコストを削減します。

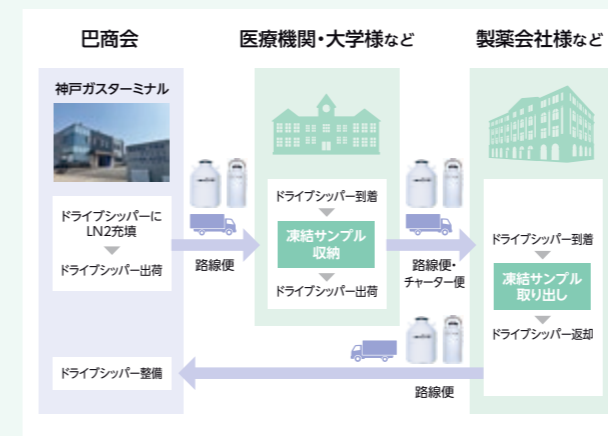
### SDGs & 脱炭素社会の推進に貢献

- LN2消費なし
- 100V電源のみで稼働
- 100V電源のみ 極低温保持
- LN2充填作業なし、作業効率up&人員削減



### 極低温輸送サービス

再生医療や細胞治療、創薬などの分野では、細胞、血液などを極低温 (-150℃以下) で保存・輸送することが求められます。当社では、予め液体窒素で冷却した輸送容器をお客様にお届けし、目的地まで配送するワンストップの極低温輸送サービスを提供しています。



### 生体試料保管サービス

株式会社SRI様と協同で提供している『Bio Storage Nexus』は、-150℃以下および-80℃の温度帯で、厳格な温度管理が必要な生体試料の保管を行っています。生体試料の保管スペース不足・バックアップ保管・設備維持費などのお客様の課題解決に貢献します。



<国内導入事例>  
国立研究開発法人 医薬基盤・栄養・健康研究所創薬資源研究支援センター様



再生医療 EXPO 東京・大阪での当社ブース



### Voice 社員の一言

企画営業部  
坪井 美空、背黒 水萌

近年、超高齢社会の進展や慢性疾患・神経疾患への新たな対策として、再生医療の需要が高まっています。産業ガス商社としての強みやノウハウを活かし、様々な液体窒素凍結保存容器の販売・レンタルだけでなく、極低温領域での輸送や保管を行うことで再生医療などの医療技術の発展を支えています。

# リスク管理の取り組み

## ▶BCP対策

事業継続を考えるうえで、想定されるリスク要因は様々です。地震、集中豪雨や大雪、高潮などの気象災害、新型コロナウイルスや新型インフルエンザといったパンデミックなど、近年ではより柔軟な対応（BCPレジリエンス）が求められています。

当社では『災害対策規程（事業継続計画）』が定められており、これによって大規模災害が発生した際には速やかに緊急対策本部を設置し、包括的に指揮を執ることになっています。社員のスマートフォンには『災害対策ハンドブック』が保存され、いつでもどこでも参照することができます。社員とその家族の身を守る備えとしています。

先のコロナ禍でも緊急対策本部を設置し、最新の情報収集と社内外への発信、多岐にわたる防疫策の実施と社員への啓発活動を行いました。3年連続したコロナ禍で、事業



災害用備蓄品の定期更新

継続に支障をきたした拠点が多かったのはもちろんのこと、200名を超える人員が働く本社においても、職場内感染が疑われるケースは皆無で乗り切ることができました。

## ▶コンプライアンス教育

社員のコンプライアンス意識を高めてもらうために、毎月テーマの異なるコンプライアンスに関わるコラムと実際に起きた世の中のニュースを社内イントラに掲載しています。

78期のコラム配信のテーマは「ハラスメント」「インサイダー取引」「人権侵害」「機密情報漏洩」「入札談合」「贈収賄の禁止」「著作権」など多岐にわたり、個人の意識で「リスク回避」ができることを含め配信をしました。また、毎年10月を「コンプライアンス強化月間」と定め、全役員と全社員を対象にeラーニングを行っています。今回のテーマは「ビジネスと人権」と「下請法」で、受講率は両テーマとも95%以上でした。



また、平時におけるリスク管理の一環として、総務課を基点に各拠点長、BCP事務局、安全衛生保安委員会等が連携して様々な備えを行っています。例えば、全拠点の災害用備蓄品や緊急連絡先リストの定期的な更新確認や、安否確認システムの管理・メンテナンスなどです。全国のどこかで震度5強以上の地震が起こった場合には、自動的に安否確認システムが起動しますが、いざというときに全社員がこのシステムを有効に使えるよう、毎年3回の安否確認訓練を欠かさず行っています。



### Voice 社員の一言

総務課  
丸茂 高輔

当社は産業用高圧ガスを取り扱う会社なので、元より社員の一人ひとりが高い安全意識を持っており、また過去にいくつもの大規模災害を乗り越えています。その資質と経験を活かし、何かがあった場合でも「お客様のためになることをする」ととめない姿勢ができています。それを担う社員が安心して働くことができるよう、私たちが日々の備えを地道に継続しています。

2025年からは、営業所などの拠点に向き、コンプライアンスに関わる研修も開始しました。今後も引き続き行っていく予定です。



### Voice 社員の一言

法務課  
三宅 菜々美

社会人としてコンプライアンスの知識を学ぶことは重要だと考えており、社員一人ひとりが自分ごととして捉えてくれることを目標に、毎月のコラムは違ったテーマで発信しています。立場の違うそれぞれの社員がその立場を踏まえてコンプライアンスについて意識することが大事だと思っています。

## ▶情報セキュリティ対策

サステナビリティの観点から、情報セキュリティ対策は企業活動の透明性と信頼性を高める重要な要素です。当社では、情報資産の保護とリスク管理を徹底し、お客様やステークホルダーの信頼に応えるための様々な施策を実施しています。

### 情報セキュリティ方針

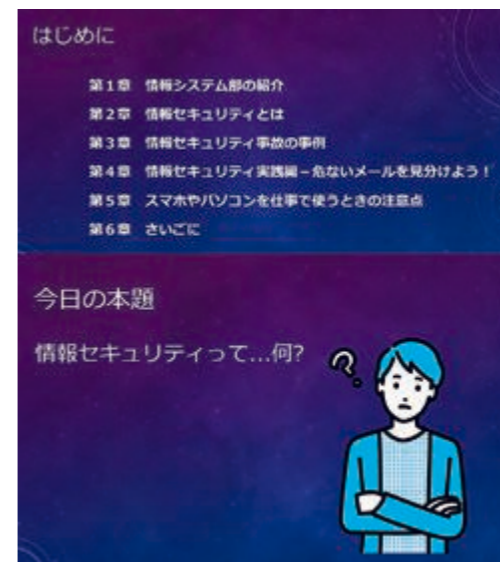
当社は、「情報システム使用に関する基本方針」を策定し、全社員に周知徹底しています。個人情報や機密情報を含む全ての情報資産について、適切な管理と運用を行うことを約束します。

### 新入社員向けの情報セキュリティ教育を実施

当社は2025年度より、新入社員向けの情報セキュリティ教育を、従来の情報セキュリティ教育とは別に行いました。

#### 新設の背景と目的

サイバー攻撃の高度化・巧妙化が進む現在、技術的な対策（ハード面）だけでは限界があります。最終的な防御の要となるのは「人」であり、社員一人ひとりの判断力が最大の防御壁となります。特に新入社員の方たちは、スマホには慣れていますが企業でのセキュリティとは何かを、一から覚えてもらうために、わかりやすい内容にして専用の教育枠を設けました。



新入社員向けセキュリティ教育画面

### 主な情報セキュリティ対策

- ・物理的セキュリティ：オフィスやサーバールームへの入退室管理、監視カメラの設置などにより、不正なアクセスを防止しています。
- ・ネットワークセキュリティ：ファイアウォールやエンドポイント検出・対応（EDR）、24時間365日体制でサイバー脅威を監視（SOC）の導入により、外部からのサイバー攻撃や不正アクセスを遮断しています。
- ・情報アクセス管理：アクセス権限の厳格な管理、定期的な見直しを実施し、必要最小限の権限付与を徹底しています。
- ・利用者の認証管理：システムへのログイン、特にクラウドシステムの利用については、多要素認証技術を用いて不正アクセスや情報漏洩のリスクを低減しています。
- ・社員教育：定期的な情報セキュリティ研修を実施し、セキュリティ意識の向上と最新の脅威への対応力強化を図っています。
- ・インシデント対応体制：情報セキュリティインシデント発生時の対応マニュアルを整備し、迅速かつ適切な対応ができる体制を構築しています。

### コンプライアンス

当社は、個人情報保護法やマイナンバー法等、関連する法令・規制を遵守しています。

### 今後の取り組み

急速に進化するサイバー脅威に対応するため、AIや最新技術の活用、外部専門機関との連携強化など、さらなる情報セキュリティ対策の強化に取り組んでまいります。また、サステナビリティ推進の一環として、社会全体の安全・安心の実現に貢献していきます。

情報セキュリティ対策は、企業の持続的成長と社会的責任を果たすために不可欠です。引き続き情報セキュリティの事故防止に向けて万全の体制で取り組んでまいります。

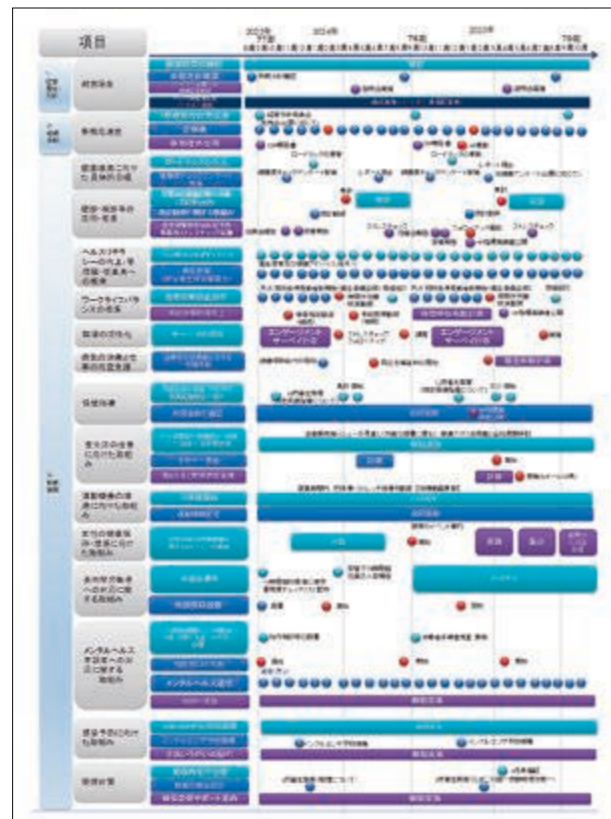
# 働きやすい環境づくり

## ▶健康経営への取り組み

### 株式会社巴商会 健康企業宣言

私たちは、「お客様のためになることをする」という社是の土台をなす要素として、社員のからだの健康の維持増進、心の健康の向上に取り組むことを決定し、ここに健康企業宣言をいたします。私たちは、産業用ガスに携わるものとして、「安全」をことのほか重んじてまいりました。そして、その安全を守るために必要なものは、社員の「安全」、わけでも「健康」です。心身ともに、いきいきと、笑顔で働ける職場環境を、組織全体で整えてまいります。巴グループの皆さんも、一人ひとりが健康の維持増進、生活習慣の改善を心がけていただき、心身の健康を力の源とし、よりいっそうお客様と社会の発展に貢献してまいります。

### 「健康経営」ロードマップ

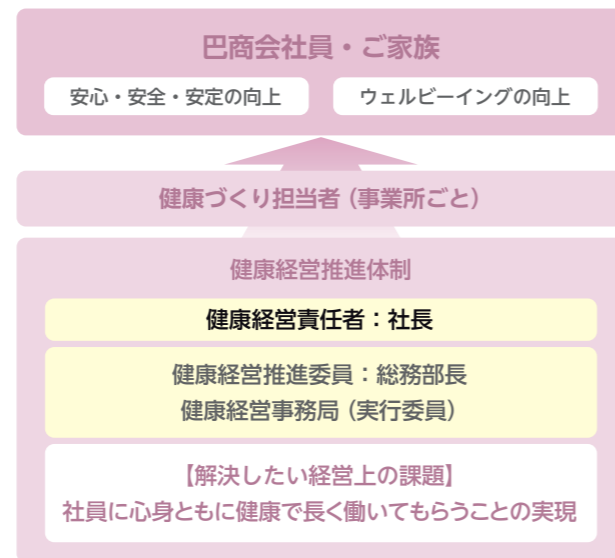


### 健康経営優良法人認定を更新

東京電子機械工業健康保険組合と連携を取りながら、健康経営に取り組み、本年度も引き続き日本健康会議が認定する顕彰制度である健康経営優良法人認定を取得いたしました。



### 健康経営の推進体制



## Voice ワーキンググループの一言

### 健康経営事務局

2018年に社長の経営方針として「健康経営」を掲げて当社の健康経営が本格的にスタートしました。健康経営事務局もそこで発足し、試行錯誤しながら活動を行っています。2021年に健康経営優良法人として認定いただき、今に至っています。社員の皆さんが心身ともに、いきいきと笑顔で働ける職場環境を組織全体で整え、健康で長く働いてもらうことの実現を目指してこれからも活動を行っていきます。

## 主な取り組み

### 相談窓口の拡充

本人だけでなく、配偶者および被扶養者が24時間年中無休で健康・医療・介護・育児・メンタルヘルスなどに関して医師・保健師・看護師等有資格者へ相談できる体制を整えています。夜間や休日、旅先で受診先を知りたいとき、応急処置・初期対応をどうしたらよいか困った際に、オンタイムで専門家に相談できる体制となっています。

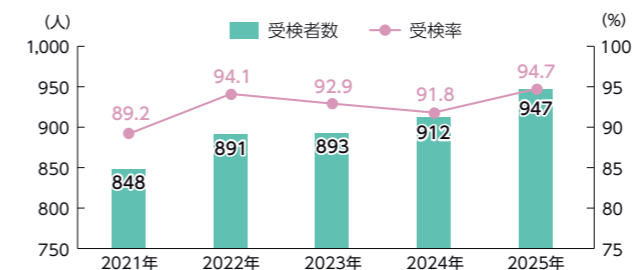


相談窓口のご利用案内

### ストレスチェックとメンタルヘルス対策

法的義務となる50名以上の事業所のみでなく、全社を対象としてストレスチェックを行っています。受検率は90%を超えており、2025年においては94.7%と高い受検率となっています。総合健康リスクは全国平均と比較して良好な状態で推移しており、職場のいきいき判定においても安定した状態を維持しています。集団分析の結果では、「職場環境」「上司のサポート」「仕事のコントロール」の項目において全国平均と比較して特に高い状態となっています。仕事に対してもやりがいを感じている社員が多く、それに見合った報酬や働きやすい職場環境が維持されているとかがえまます。集団分析結果については職場ごとに管理職へフィードバックを行い、当該職場の環境改善を促進しています。また、高ストレス部署に対して専門家による個別面談を実施し、メンタル不全抑制に努めています。

### ストレスチェック受検者数推移



## 働き方の多様性とワークライフバランス

人事制度改革と人事システムの変更に伴い、時間単位で有給休暇を取得できる制度を設けました。1時間単位で有給休暇を取得できることにより、通院や子どもの送迎など短時間の使用に柔軟に対応でき、ワークライフバランスの拡充や働き方の多様性につながっています。

安全衛生保安委員会で毎月の長時間労働者数を発表し、傾向を周知しています。長時間労働となっている対象社員には疲労蓄積状況セルフチェックの案内を行っており、時間外労働が一定時間を超えた社員にはその上司を含めて法定上限時間よりも早いタイミングで産業医面談を勧奨し、社員皆さんのワークライフバランスのサポートを行っています。

### 治療と仕事の両立支援

疾病時にも仕事との両立ができるよう、各種相談窓口の周知やテレワーク・時差出勤ガイドライン、休職者の支援手順、心の健康づくり計画などの整備・運用を行い、社員を支援しています。

### 定期健康診断と特定保健指導

社員の定期健康診断受診を徹底しており、受診率100%の維持を目標に活動を計画しています。さらに健康診断の有所見者へ再検査の受診勧奨を行うことで、隠れた症状の早期発見に努めています。

特定保健指導対象者には、健保組合提携の外部委託先による特定保健指導を実施しています。勤務場所や時間に関係なく指導を受けることができるよう、オンラインによる特定保健指導の勧奨を行っています。

健康診断や特定保健指導の内容については社内へ周知を行い、意識の向上を図っています。

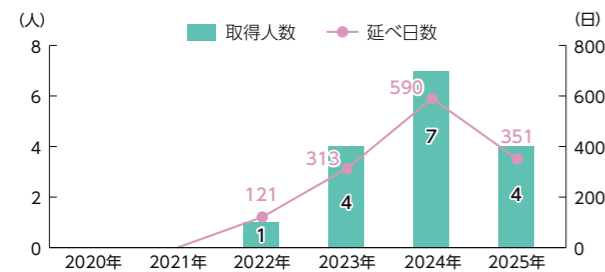


健保組合の機関誌「Health」

## ▶育児休業

女性の育児休業制度の利用率は、2025年12月5日現在で100%となっています。男性の育児休業も推進している中、短期間の休業ではなく、3か月以上などの長期で取得する社員も増えてきています。今後さらに男女ともに育児休業取得の意識を高めていければと思います。

男性育児休業取得者数



## ▶育児短時間勤務制度

当社では、育児短時間勤務の利用期間を「小学校6年生の3月31日まで」と長く設定しています。子育てをしている社員の働き方の多様性に柔軟に対応すること



### Voice 社員の体験談

国際管理課  
桐山 紗矢

育児休業から復職後、現在は子どもを保育園に預けながら「育児短時間勤務制度」を利用して働いています。社内には同じように制度を利用して仕事と家庭を両立している社員も多くなりますが、復職前は自分にも同じように

### Voice 社員の体験談

多摩営業所  
木村 耕作

自分に子どもができたことがわかったときは、育児休業の取得は考えていませんでしたが、双子ということがわかり、育児休業の取得を考えるようになりました。休業中は上司や、グループのメンバーに自分が扱った分の負担がかかるので申し訳ない気持ちがありましたが、「仕事のことは任せて家族を優先してください」と後押ししていただけたことは非常に感謝しています。初めての育児で双子ということもあり不安でいっぱいでしたが、産まれてから3か月間育児に専念でき、一緒に過ごせたことはとても有意義でした。自分が助けていただいた分、今後社内で育児休業を取得する方がいたら今度は自分が助けられるようにしていきたいです。

で、<子育て>と<仕事>とのさらなる両立支援を目指します。

できるのが不安でした。しかし、実際には上司や同僚の理解もあり、無理なく両立した生活が続けることができます。また、子どもが小学校6年生までと長期間利用可能であることも非常に心強く、安心して長く働き続けることができる環境にあると感じています。今後もこの制度を利用しながら、キャリアアップに挑戦していきたいと思っています。

## ▶介護休業

2025年4月1日の育児・介護休業法改正に伴い、改めて介護に関する制度についてイントラネットの掲示板掲載や40歳以上の社員全員に対してメールで案内するなど社員への周知を進めました。周知後には、実際に介護休業制度を取得する社員や相談件数も増えました。

引き続き、介護休業を取得した社員の具体的な事例など介護休業に関する情報提供を行い、介護と仕事を両立できる柔軟な働き方を推進していきます。

## ▶研修制度

当社は、全社員、全職種を対象に社員研修を実施しています。

今年度は、延べ1,774名の社員が研修を受講しました。テーマや内容により、集合研修とweb研修を使い分けながら行っています。

代表的な制度としては定例研修会があります。入社年の同じメンバーが集まり、定期的で開催されているものです。これは1977年から始まり、その時代に合わせて内容を変えながら続けられています。

その他には、マネージャー研修会やwebオープンセ



ミナーなど、それぞれの役割やニーズに合わせたテーマで研修を行っています。

また、全社のチーム力を活かして行う新入社員研修では、営業所や研究所などを見学したり、実務に関わる各部署のスペシャリストが講師として登壇したりするなど、専門性を活かした運営をしています。

これらの研修会では、会社の考え方の基礎である社是「お客様のためになることをする」とは、どのような行動が求められているかを皆で考える時間も設けています。

社員の皆さんが参加しやすい環境づくりを今後も続けてまいります。

新人社員研修	新人フォロー研修	入社半年後研修	2年目研修
定例研修会	～基礎(3年目)～実務(7年目)～マネジメント(10年目) キャリアクラス (中途入社社員向け)		
年1回研修	フォローアップ研修	階層別(マネージャー)研修	一般職研修
その他の研修	外部セミナー	テーマ別オープンセミナー	一般職研修

## ▶障がい者雇用

当社は、より豊かな未来を提案する企業を目指す活動の一環として障がい者雇用促進のため、2022年12月に「ソーシャルファーム わーくはびねす農園 さいたま浦和」を開所しました。障がい者手帳を持つ社員3名と、管理・指導を行う農場長1名の計4名のチームで作物を育てています。

育てた野菜は本社や営業所へ配布し、好評を得ています。野菜を食べた社員からは調理写真を貰い、農園にお礼として届けており、農園スタッフの励みになっています。

不定期ではありますが、農園での活動について社員に広く周知するために『浦和ファーム通信』を発信しています。すでに4回発信しており、農園で育てている野菜や一般的な農園との違い、作業における楽しさ・大変さについてなど、農園での取り組みについて社内へ発信しました。



### Voice 社員の一言

人事課 浦和ファーム  
深田 貴久

浦和ファームで採れた野菜を社員の方々へお届けし、その野菜をいろいろな調理方法で美味しく召し上がっていただいた際のコメントを頂戴するたび、ハウス内が47～48度にまで達することも多々ある環境下で世話した甲斐があったなと毎回嬉しい気分になります。今後も当社の社是でもある『お客様(→野菜を育てる私とスタッフにとってお客様は社員の方々?)のためになることをする』の実践にさらに努めていきたいと思っています。

# 企業市民としての活動

私たちにできる「身の丈に合った活動とは何か」を常に考えながら、年間計画を作成し、継続した社会貢献活動を行っています。

## ▶ 社内的な取り組み

### 社会貢献ワーキンググループ活動の定着化

当社では、地域社会やその他のコミュニティへどのように貢献すればよいのかということを検討した結果、ボランティア活動などに代表される体験型の社会貢献を第一歩の活動とすることにしました。

気軽に、そしてより多くの社員が社会貢献活動に参加でき、継続的・計画的に活動の輪を広げていくことを目

的として、志のある社員を中心に「社会貢献ワーキンググループ」を2012年1月より組織しました。

設立から10年以上が経過し、社員の認知度、活動参加者が増加してきています。今後も人とのつながりや環境保護への意識を持ちながら、地域に根差した社会貢献活動に注力していきます。

## ▶ 私たちのボランティア活動

ボランティア活動への参加状況 (2024年9月～2025年8月)

書き損じはがきの寄付活動 (日本盲導犬協会神奈川訓練センター)	10 部署	467 枚
使用済み切手の回収・寄付活動	16 部署	2kg
カレンダー寄付活動 (各都道府県社会福祉協議会など)	29 部署	1,195 本
駅前花壇 (NPO 法人 大田・花とみどりのまちづくり)	延べ 11 名 (5 日) 参加	



書き損じはがきの寄付により日本盲導犬協会を支援



駅前花壇の整備



### Voice 社員の一言

社会貢献ワーキンググループ  
森田 悠介

駅前花壇の清掃活動に参加し、古くなった花を抜き、土づくりや植え替えを行いました。作業を通じて、花を育てるには土の状態や季節に合わせた

準備が重要だと学びました。また、普段何気なく見ていた花壇も、多くの人の手間と工夫で維持されていることに気づき、地域の美化に関わる責任を感じました。

仲間と協力しながら環境を整えることで、街への愛着が深まり、今後もこうした活動に積極的に参加したいと思います。

## ▶ 子会社の社会貢献活動

当社には国内に7社、海外に10社の子会社があります。各子会社がそれぞれの形で社会貢献活動を行っていますが、PARTNERS GAS & CHEMICALS (CAMBODIA) CO.,LTD. (略称:PGCC) の活動をご紹介します。

2025年12月、カンボジア コンポンチャンナン州バリバー区にあるKroBao小学校に、生徒70名全員分の

制服や文房具、お菓子などを寄贈しました。

カンボジアの教育事情は近年大きく改善してきたものの質が高いとは言えず、設立間もないPGCCでもカンボジアに貢献できることを皆で考えた結果、学習教材などの寄贈を決めました。



寄贈式にて



KroBao小学校正門と新校舎



寄贈品を生徒一人ひとりに手渡しました



制服、文房具やノート、鞆、色鉛筆、中古PC、お菓子、古着などを寄贈しました



KroBao小学校より贈られた感謝状



お礼でいただいたココナッツ

## Voice PGCC 堀川社長の一言

今回PGCC社員とともに学習教材を寄贈したことで、裸足で登校している生徒の姿や、高学年になると親の仕事を手伝うことから学校に来ている生徒は低学年が多いという、この地域の現状を目の当たりにしました。普段からカンボジアには出張で行っており、また、学校の状況を知ってはいましたが、肌で感じることでこの国に日本の会社としてできることはないのか、改めて考えさせられた一日となりました。来年以降も同様の活動は継続していきたいと思っております。

## ▶地域社会への参加の取り組み

### 交通安全街頭活動

当社は、地域の安全のため、1971年より蒲田安全運転管理者部会の一員として、交通安全街頭活動を継続しています。毎月2〜3回、当社社員が東京都大田区内の幹線道路が交差する地点に立ち、ドライバーや歩行者・自転車の通行者に対して交通安全意識を高めていただけるよう、啓発活動に取り組んでいます。



### スポーツを通じて社会・地域貢献!

#### アースフレンズ東京Z

当社創業の地である、東京都大田区をホームとするプロバスケットボールチーム「アースフレンズ東京Z」を、Bリーグ参戦初期より協賛・応援しています。

広報目的の単なるスポンサーとしてではなく、“すべての方々がスポーツについて、観る・プレーする・支えることを楽しむことにより、ユニバーサル社会実現の力になりたい”という「アースフレンズ東京Z」の考えに共感し、チームへの支援を継続しています。



#### 東京羽田ヴィッキーズ

同じく東京都大田区をホームとする、東京都内唯一のWリーグ（バスケットボール女子日本リーグ）クラブチーム、「東京羽田ヴィッキーズ」をオフィシャルパートナーとして支援しています。

チームとともに、地域の方々や地元各企業と協働することで、明るく健やかな生活、多くの人々の交流が生まれる活力のある街づくりを目指します。



#### GRANDIR

東京を拠点とする女子カーリングチーム「GRANDIR」をダイヤモンドスポンサーとして支援しています。

「～東京から 関東から 世界へとばたく～」日本代表としてオリンピック出場を目指すチームの成長とともに歩むことで、カーリングという北国でなければ第一線を継続することが難しい競技と、有望な選手たちの関東地方での社会人生活または就学を両立できる環境を提供していきます。





#### ロゴマークについて

トモエブルーの力強いTOMOEの文字は、私たちが創業より大事にしているお客様との信頼の証である握手を描き出しています。

そして3本の曲線は「大地（エバーグリーン）」「空（スカイブルー）」「宇宙（コズミックブルー）」を表し、ガスを扱う会社として守り続けていく環境と私たちの生活の架け橋のような存在でありたいとの願いを込めています。

#### 株式会社 巴商会（監修：CSR委員会）

〒144-8505 東京都大田区蒲田本町一丁目2番5号 ネクストサイト蒲田ビル  
TEL.03-3734-1111（代表） FAX.03-3739-1070

本冊子に関してのご意見・ご質問がございましたら、上記宛先までお願いいたします。